

令和5年度中学校教育研究会（秋の公開）英語科 授業の様子

単 元 名	英語版校歌をつくり、チェルシー先生に紹介しよう		
授 業 学 級	1年B組 (40名)	授 業 者	入間川 浩侑己
研究アプローチ	I：教科・アプローチ		
教科の学び	前単元「自分のまちを紹介しよう」の発展型、whichの用法、英語版校歌		

【本時の様子】

生徒たちは、チェルシー先生に校歌を紹介するために、本時では「戸隠しようま 咲き薫る」の歌詞について、これまでの授業で獲得してきた「メロディー」「内容」「歌詞に込められた自分の願い」という視点を基に、友と自分の考えを伝え合いました。

全体共有の場面では、「咲き薫る」という歌詞について、同じ「メロディー」という視点であるが“blooming”と“in full bloom”など表現が異なる点に焦点を当て、①「シンプルな表現でチェルシー先生が意味を理解しやすい」や②「歌詞が難しいので、チェルシー先生が情景をイメージできるような歌詞がよい」という理由について言及している生徒の考えを全体に紹介したことで、生徒たちは、理由を明確にすることで相手が納得するという、理由を伝えるよさに気付くことができました。

その後、自分が考えた、校歌に合った英語表現に対する理由をメモに整理しました。生徒達は、「チェルシー先生」という相手意識をもったり、これまでに獲得してきた三つの視点から理由を考えたりしてメモに整理し、自分の考えを友と伝え合いました。

1回目のやり取りでは、視点のみを理由にして伝えていた生徒たちが、自分の考えた英語版校歌の歌詞の表現について、上記の①や②を取り入れて、理由として伝える姿がありました。

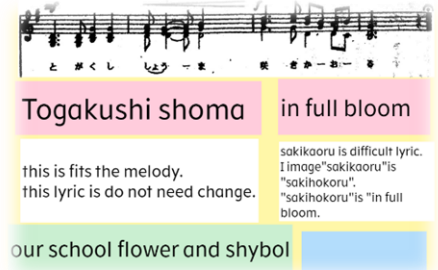
今後は、グループで一つの英語版校歌をつくり、チェルシー先生に英語版校歌を紹介したり、一緒に歌ったりしていきます。果たして、チェルシー先生は、どのような感想をもち、生徒たちに伝えてくれるのでしょうか!?



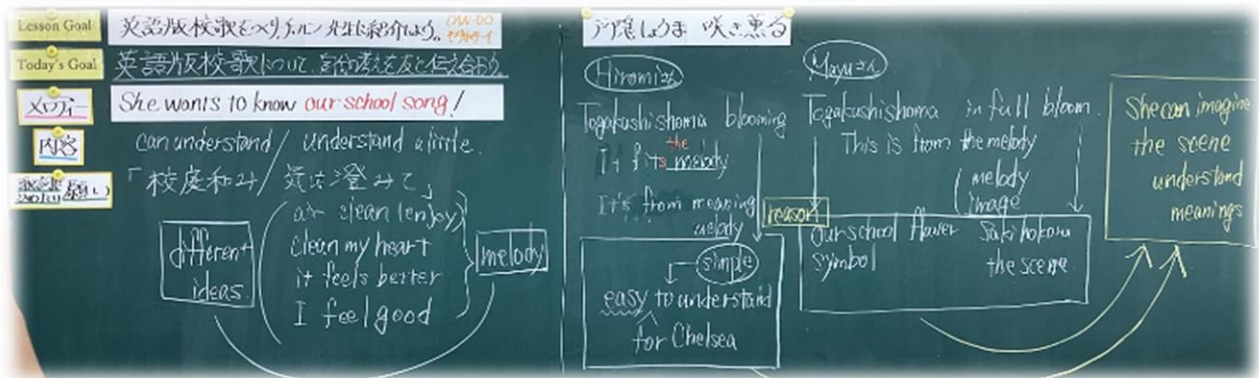
中間指導の様子



グループでのやり取りの様子



生徒が整理したメモ



本時の板書

【単元終末のN生の姿】

N生は、単元を通して、三つの視点を基に英語版校歌をつくることができました。また、グループで一つの英語版校歌をつくりました。その際に、グループの中で、「チェルシー先生が意味を理解して、情景をイメージできること」という理由を基にやり取りをしました。

第8時（最終時）、友の「その歌詞にした理由を明確にして伝えることで、チェルシー先生が歌いやすかったり、情景をイメージしたりして伝わるのではないか」という考えを聞き、さらに、メモを修正した後、自身の紹介をビデオに録画しました。以下は、N生の紹介の一部です。

Our school song is very nice. This song has many beautiful lyrics. I introduce English our school.

I change 名山四方 取り巡り to "Many mountains are around us." It is from meaning and my image. I imagine many beautiful mountains from this lyric because Nagano has many beautiful mountains.

I change 千曲の流れ 見遥かす to "Chikuma river is clear." We see far away. It is from contents and my hope. "Chikuma river is clear" is my wish. And "We see far away" is from contents. We can see beautiful Nagano's view.

I change 我が学び舎は 豊かなり to "Our school has many happiness." It is from my image. My school is a happy school because everyone smiles.

I change 校庭和み 気は澄みて to "Schoolyard has a nice time." It is from the melody. This lyric fits the melody.

I change 旧年の雪 打ち払い to "Snow in the old year blow away". It is from the rhythm. This melody's rhythm is like jumping step. So, this lyric fits the rhythm.

I change 戸隠しょうま 咲き薫る to "Togakushisyoma blooming beautiful." Do you know Togakushisyoma? It is a beautiful purple flower. This flower is special for us. It is our school's symbol flower. Togakushisyoma is blooming beautiful.

Do you like our school song?

N生の英語版校歌の紹介の一部

そして、第8時（最終時）の終末、チェルシー先生から英語版校歌の紹介や一緒に歌ったフィードバックをもらい、Lesson Goalに対する振り返りを記述しました。

最初うまく伝わるか不安だったけれど、先生の "I like this school song. It is a beautiful image." などの感想を聞いて、しっかり伝わったんだなと思ったし、イメージのほう分かりやすいのかなと思った。小学校の頃を合わせて、皆それぞれ習ってきた英語があると思う。今まではそれらが本当に伝わるのかな？と置いていたところがあったけれど、チェルシー先生にもわかってもらえて私達のやってきた英語は伝わるものになったと分かったし達成感があってこれからの英語の授業が楽しみになった。

日本語のことを英語で伝えるから、ちゃんと日本語も理解しておかなければいけないなと思った。何かを伝えるときは、何を伝えたいかを明確にしたほうが、自分の言いたいことを伝えられると思う。

私達の校歌にはたくさんのいいところがあって、そこをどれくらいわかりやすく、きれいに伝えられるかが大切だったと思う。視点を基につくっていくことができ、友と考え合い、誰かがいい表現を見つけてくれば、みんなの校歌がもっとよくなるから、友との共有が大切だった。これからもきっとそういう事があると思うから、みんなでアイデアをもち寄って私達の話す英語をより豊かにしていきたい。

N生のように、英語版校歌をつくり、紹介していくために、様々な視点を基にしていくことでつくることができそうだと見通しをもったり、その視点から友とやり取りする中で校歌に合うよりよい英語表現を考えたりすることができた生徒が多く見られました。このような学びをした生徒が、今後の英語を含むすべての学習で、どのように生かしていくかが楽しみです！